

提供日 2016/10/11

タイトル 平成28年度グランシップ子どもアート体験！学校プログラム

担当 公益財団法人静岡県文化財団 事業課

連絡先 TEL 054(203)5714

静岡県文化財団

記者提供資料

グランシップ子どもアート体験！学校プログラム 富士宮市立大宮小学校にて「連詩をつくろう！ワークショップ」を開催！ ～第一線で活躍する詩人と一緒に連詩を創作します～

1 要旨

公益財団法人静岡県文化財団・グランシップでは、県民の皆様に芸術性の高い舞台芸術を鑑賞・体験する機会を多く持っていただき、またグランシップの活動を知っていただくために、国内外の芸術家によるコンサートやワークショップなど、多様な形態で各地の文化施設や学校においてアウトリーチ活動を積極的に実施しています。

今回は、国内外の第一線で活躍している詩人と共に、子どもたちが連詩の創作に取り組みます。三島市出身の詩人・大岡信さんが提唱した連詩は、一部の小学校の国語の教科書にも掲載されており、アーティストとともに教材に取り組むことができる貴重な機会です。

2 ワークショップ概要

区分	内容
日時	平成28年11月1日(火) 11:15～15:45 (4・5・6時間目)
会場	富士宮市立大宮小学校 6年1組・2組教室(富士宮市元城町2-1)
参加者	6年1組(35名)・6年2組(35名)
講師	1組担当: 覚 和歌子(詩人) 2組担当: 野村喜和夫(詩人)
進行内容	<4時間目(11:15～12:00)> 詩人の自己紹介、「連詩」についての説明、詩人によるデモンストレーション、創作開始 <5・6時間目> 13:35～14:20 創作 14:25～15:20 創作、メロディにのせた連詩の発表、講師からの講評

3 詩人プロフィール

●野村喜和夫(のむら きわお)

詩集「特性のない陽のもとに」で歴程新鋭賞、「風の配分」で高見順賞、「ニューインスピレーション」現代詩花椿賞受賞など。評論「移動と律動と眩暈と」及び「萩原朔太郎」で鮎川信夫賞ほか著訳書多数。英訳選詩集「Spectacle&Pigsty」で2012Best Translated Book Award in Poetry(USA)を受賞。戦後世代を代表する詩人の一人として現代詩の最先端を走り続けている。「しずおか連詩の会」では、2009年よりさばき手を務めており、今年度で11回目の参加。

●覚 和歌子(かく わかこ)

ムーンライダーズ、夏川りみ、平原綾香、SMAPなどに歌詞を提供。2001年「千と千尋の神隠し」主題歌「いつも何度でも」作詞で第43回日本レコード大賞金賞。映画「ヤーチャイカ」で谷川俊太郎と共同監督・脚本・原作担当。朗読、翻訳、舞台演出、絵本創作など、詩作を軸足に活動は多岐にわたる。米国ミドルベリー大学日本語学特別講師。「しずおか連詩の会」は過去4回参加。※今年度は不参加

4 「しずおか連詩の会」について

日本を代表する詩人等が5人集まり、3日間の創作期間を経て3行と5行の詩を交互に組み合わせた40編の連詩を朗読、発表する。各詩人が担当した詩について、作者自らが解説し、各言葉に込められた思いと共に、創作期間中のエピソードなども披露。

参加詩人: 野村喜和夫、高貝弘也、小笠原鳥類、高柳克弘、暁方ミセイ

日時: 11月20日(日) 14:00～ 会場: グランシップ 11階会議ホール・風 入場料: 500円

5 取材申込・お問い合わせ

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者: (公財) 静岡県文化財団 事業課 電話 054-203-5714 担当: 河合、渡邊